

# アルミ押出金型の温度計測

## 支援の背景

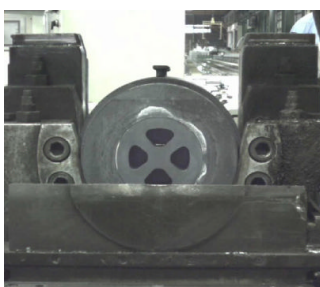
金秀アルミ工業株式会社では、アルミ押出材の製造を行っています。製造に際して、温度管理は品質に大きく影響する重要なパラメータですが、従来の測定方法では部分的な温度の把握に限られていました。

## 支援内容

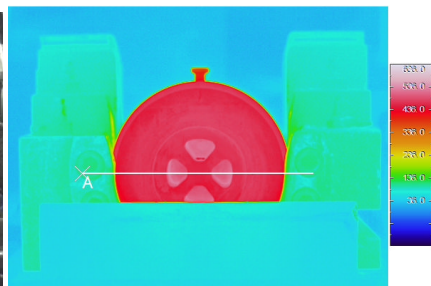
平成23年度に財団法人JKAの補助事業で導入した「赤外線サーモグラフィ」にて金型予備加熱炉の温度分布、押出前の金型の温度分布を計測しました。これにより、広範囲の表面温度を時系列で把握することが可能となりました。

## 支援の成果

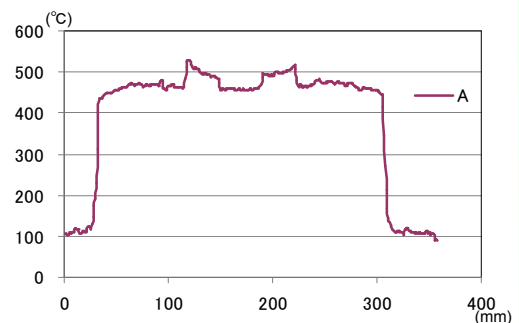
予備加熱炉ごとの温度分布や、金型の大きさ、形状による温度分布を把握することにより、効率的な加熱スケジュールの作成が可能となり加熱時間の短縮、省エネに繋がります。また、金型を高温下にさらす時間を短縮する事により、酸化を抑制することが可能となります。



金型可視画像



金型熱画像



表面温度分布(Aライン)